

中区 食中毒防止へ街頭広報

浜松市食品衛生協会(藤井啓輔会長)は3日、8月の食品衛生月間に合わせて食中毒防止街頭キャンペーンを中区の市ギャラリーモール・ソラモと遠鉄百貨店で行った。

会員ら約90人が市指定ごみ袋を通行人に配布



して注意を呼び掛けた。市内全域に掲示する食品衛生月間ポスターを制作した静岡文化芸術大デザイン学部の大久保冨華さん(4年)＝写真、左から2人目＝が「一日食品衛生月間実行委員長」として参加。会員や市保健所職員らと百貨店の食品売り場を訪れ、温度計を使って冷蔵温度や、賞味期限の日付を確かめた。

藤井会長は「今年は例年のない暑さで、より注意が必要。店舗だけでなく各家庭でも気を付けてほしい」と話した。

